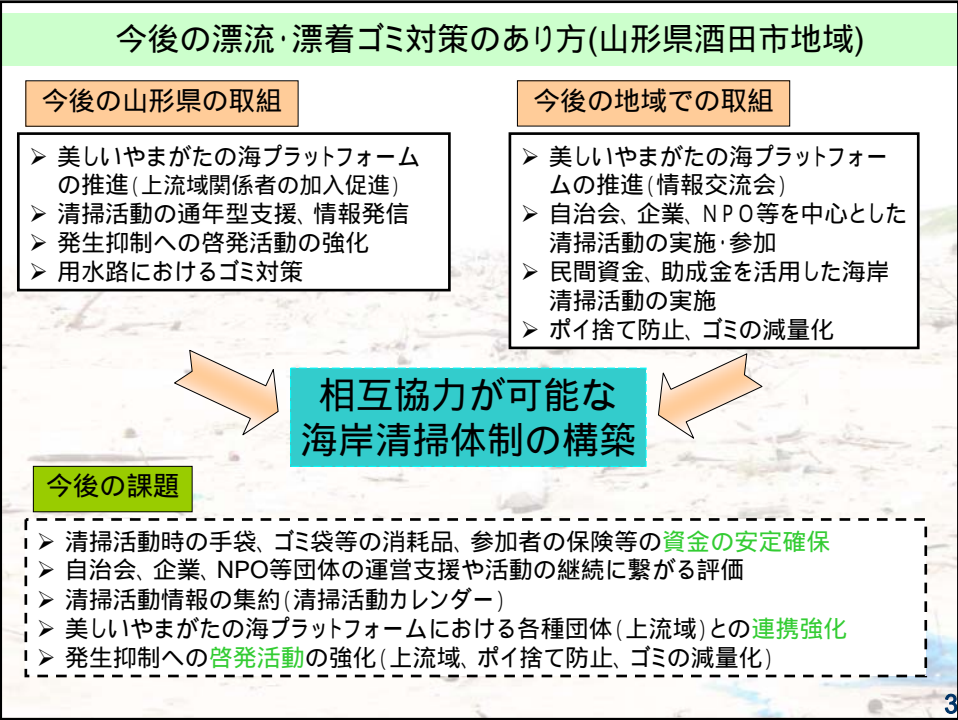


漂流・漂着ゴミ国内削減方策モデル調査

—モデル調査の成果の今後の展開について—

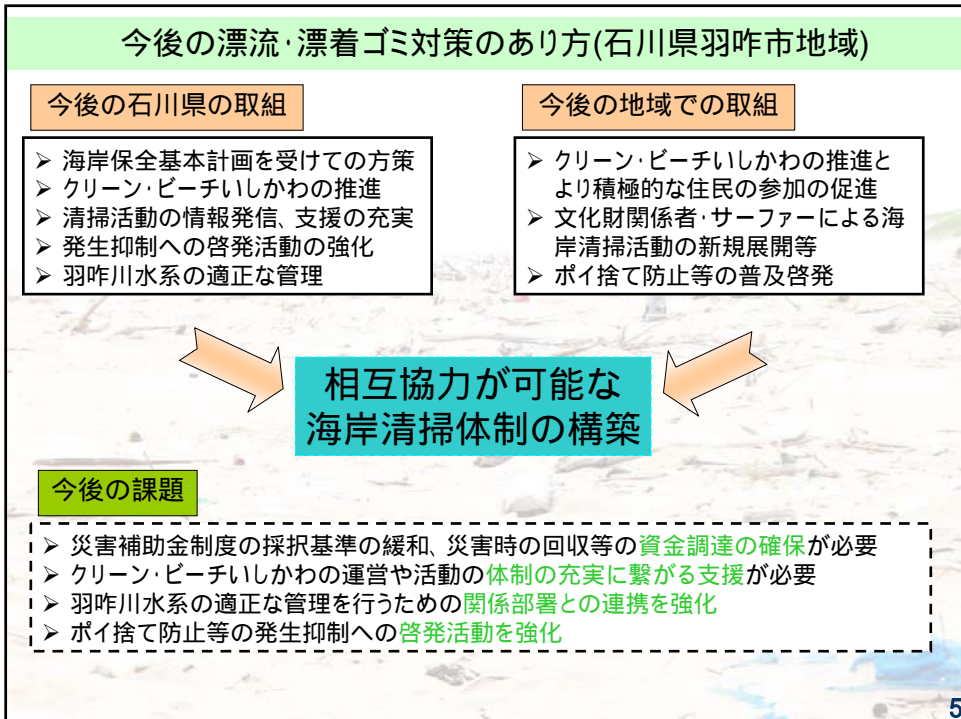
平成21年3月





石川県羽咋市地域

4





今後の漂流・漂着ごみ対策のあり方(福井県坂井市地域)

今後の福井県の取組

- 環境基本計画に基づいて漂着ごみに係る検討会を設置予定
- 処理困難物の処理費用支援について検討
- 川から海までの一体的な清掃活動の実施

今後の地域での取組

- 坂井市が「海ごみ川ごみプラットフォーム・さかい」の設立準備
- 水辺環境フォーラム「みくにの海からSOS」(坂井市主催)を通して上流域への情報発信の継続
- 自治会・漁業協同組合を中心とした海岸清掃の継続

相互協力が可能な 海岸清掃体制の構築

今後の課題

- 近傍河川からのごみの流入量及び近傍河川の流域におけるごみの発生源の把握
- 漂着ごみの問題を、県民に、客観的に、わかりやすく提示し、共有の課題とする必要がある。
県民の目に見えるように漂着ごみ問題を示し、その発生源になり得るとの自覚や清掃への自発的な参加を促す

8

発生源対策



H21.3.7 「みくにの海からSOS」川ごみ一掃統一行動

3R推進メッセージ入賞作 (H20)

9



三重県鳥羽市地域

10

今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方(三重県鳥羽市地域)

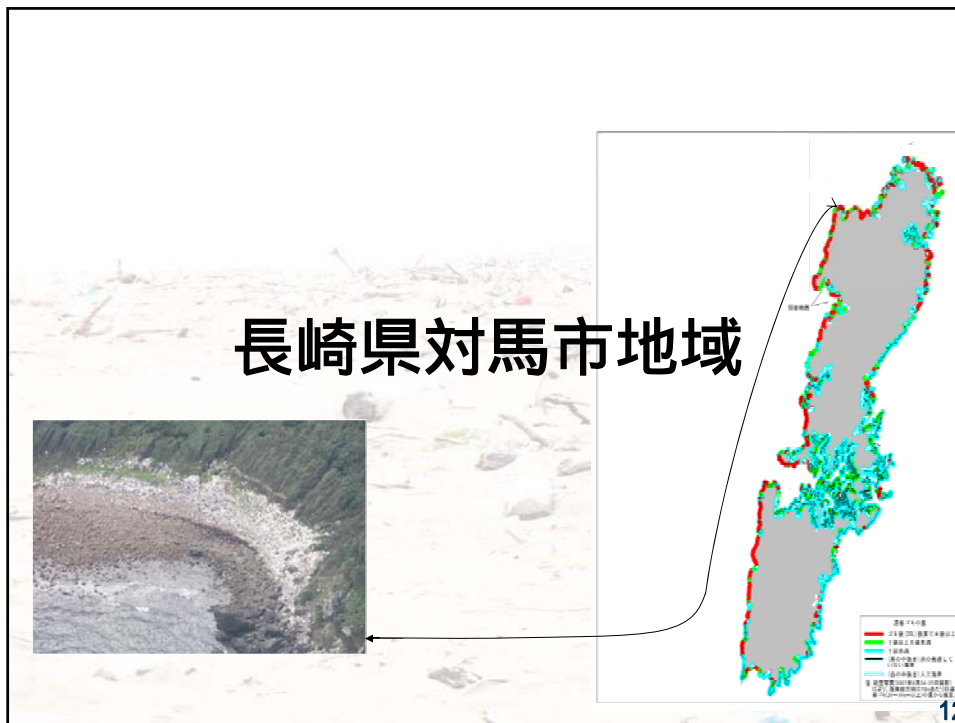
今後の三重県の取組	今後の地域での取組
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 伊勢湾再生推進会議等において、漂着ゴミの問題の情報提供、伊勢湾流域の関係省庁や自治体と連携 ➢ 県内の活動情報・結果を集約、情報配信(パンフレットなど) ➢ 清掃活動に関わる団体の情報交換の促進 交流の場の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 小・中・高校生を対象とした環境教育の実施 ➢ 海の博物館と共同でのゴミを含む漂着物の展示 ➢ NPO等を中心とした清掃活動の促進 ➢ 清掃活動への多様な主体の参加

**相互協力が可能な
海岸清掃体制の構築**

今後の課題

- 「参加ボランティアやNPO等に対する交通費助成」についての検討(県・市)
- 海ゴミに関する協議会の設置
- ゴミ回収作業のボランティア参加者の顕彰(広報誌への指名掲載等)を検討中
- 発生抑制への啓発活動の強化(ポイ捨て防止、ゴミの減溶)

11



12

今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方(長崎県対馬市地域)

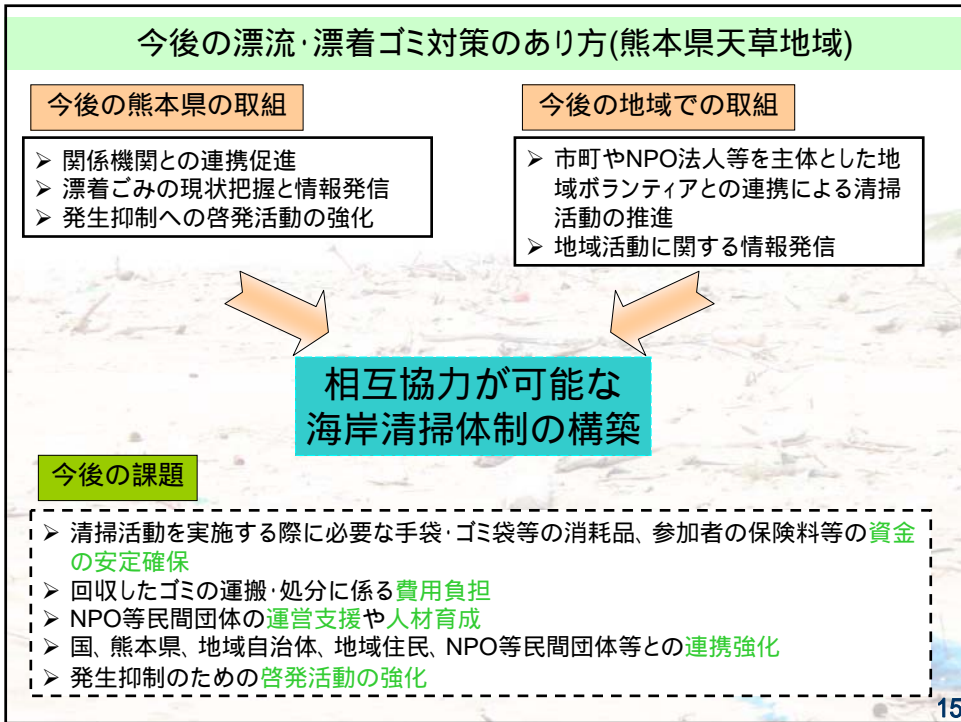
今後の長崎県の取組	今後の地域での取組
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 「五島・壱岐・対馬沿海岸保全基本計画」、「漂流・漂着ごみ問題解決のための行動計画」、「ゴミゼロながさき推進計画」の推進 ➢ 必要な時に直ぐに協議できるプラットフォームの構築 ➢ 発生抑制への啓発活動の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 「対馬市市民協働推進指針」の推進 ➢ NPO等を中心とした清掃活動の実施・継続・強化 ➢ 対馬市主導のNPO・住民・諸団体、長崎県との協働・支援関係の構築 ➢ 関係者のネットワーク化 ➢ 隣国・韓国との問題意識の共有、情報交換と連携の推進

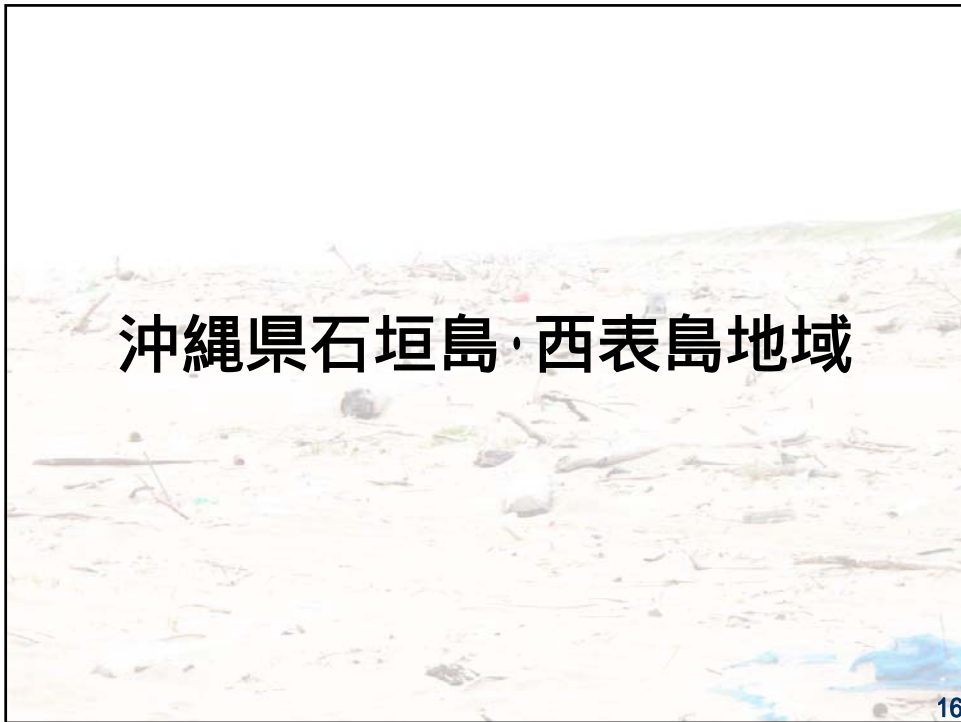
相互協力が可能な
海岸清掃体制の構築

今後の課題

- 清掃活動時の手袋、ゴミ袋等の消耗品、参加者の保険等の**資金の安定確保**が必要
漂着ゴミ対応のための財源確保の検討(例:環境省補助金の利用、法定外目的税の導入など)
- NPO等団体の運営支援や活動の継続に繋がる評価が必要
- 回収したゴミの島内処理の検討(例:高性能破砕機の導入など)

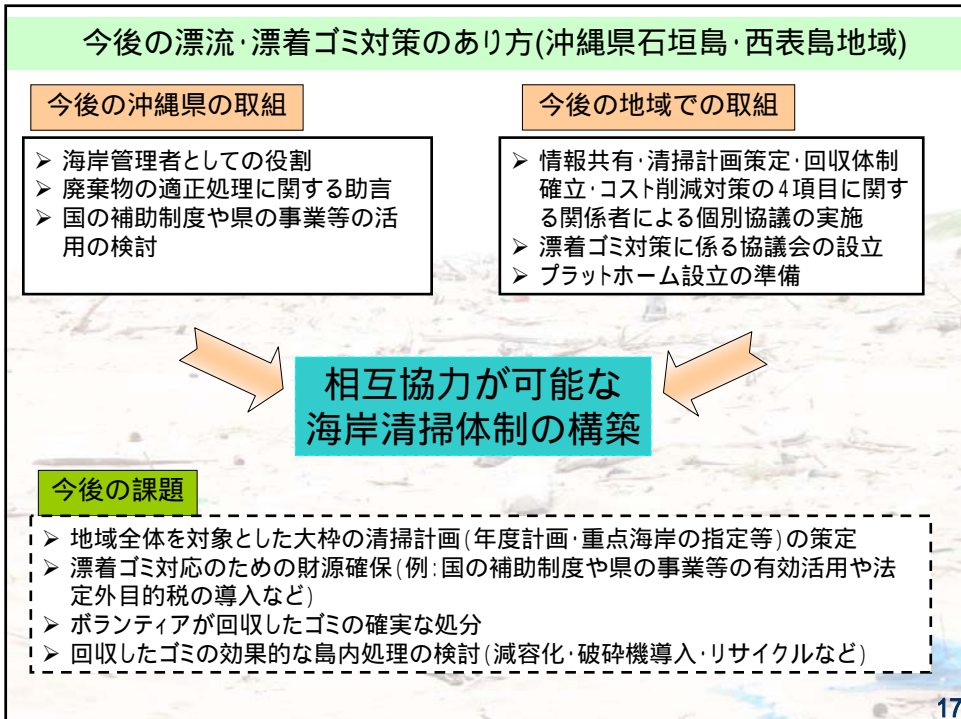
13





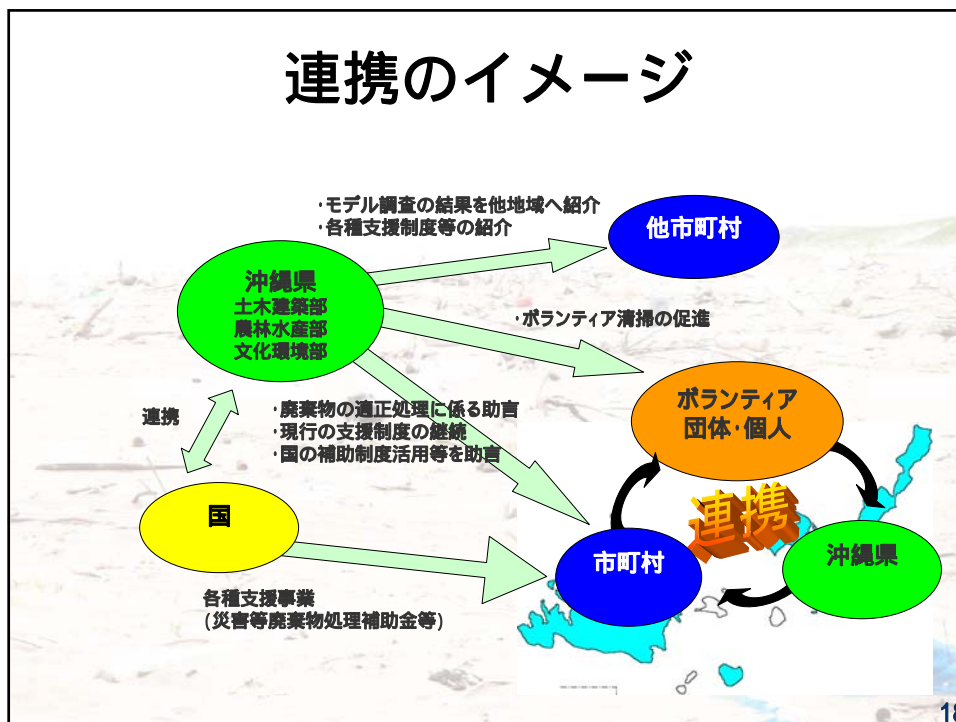
沖縄県石垣島・西表島地域

16



17

連携のイメージ



ボランティア清掃の促進

・ちゅら島環境美化推進県民連絡会議 (県、市町村、各種団体の計129団体)

< H20年度の活動実績 (海岸清掃に限らない生活環境全般) >

- 夏季(6～8月) 27市町村
- 参加者数 延べ 28,206人
- 年末(12月) 20市町村
- 参加者数 延べ 26,728人

・沖縄クリーンコーストネットワーク(OCCN) (行政、各種ボランティアなど、計250団体・個人)

< H20年のクリーンビーチ活動実績 >

- ビーチ等清掃活動数 延べ 136箇所
- 参加者数 延べ 14,251人
- ゴミ等回収量 約151トン

19